

みん 有無 第五号



< 梅の花 >

源通寺境内にある梅は、寺務所横が赤色、
古聖会館前が白色です。
その赤白の梅は、2月下旬に満開となりました。
春の訪れです。

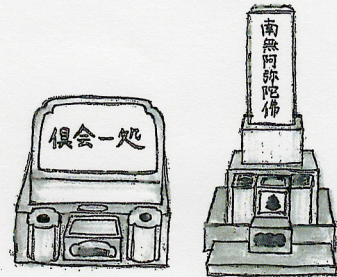
梅の花言葉は、「高潔」「忠実」「忍耐」。
白梅は「気品」です。

倶会一處

～ともにそろって
一つの場所で会いましょう～

墓地を歩いていると墓石に刻まれている文字に幾つかの種類があることに気が付きます。

- ・〇〇家え墓
- ・〇〇家代々え墓
- ・南無阿弥陀仏
- ・倶会一處



〇〇家代々え墓は読んで字のごとく！

南無阿弥陀仏は意味は分からないけれどよく耳にする！

倶会一處... ???

という方は多いのではないのでしょうか？

「倶会一處(くえいちよ)」は「仏説阿弥陀經(ぶつせつあみだきょう)」というお経の中に書かれている言葉です。

(倶)という漢字の意味が分かると、この言葉が見えてきます。

辞書には「ともにそろって・ともに」とありました。

倶会一處... ともにそろって一つの場所でお会う

もう少し仏教的に言えば...

この世の命を終えたあとは、浄土という仏・菩薩の世界に集合！
という意味を持っています。

真宗では、亡き人は諸仏となり浄土へ生まれると言われます。
墓石にこの文字を刻むということは、亡き後の集合場所があることと同時に、残された人達が自分自身を見つめ直す場所として、阿弥陀仏(集合場所の主)や
諸仏からの問いに心を向けることを意味するのだと思います。



意外だ!

仏教語?

普段の生活の中で、仏教を意識するタイミングはどのくらいあるのでしょうか? 勝手なイメージではあり

ますが、ほとんどない! という方が大勢だ! と思います。ですが、普段何気なく言っている言葉が意外にも仏教に語源があるものだったりします。

例えば... Aさん「ちょっとそこにある書類取って。」

Bさん「はいはい... はれ。」

Aさん「ありがとう。」

はい、ストップ! この何でもない会話の中に仏教が顔を出しました! もちろんBさんの返事ではありません。

おそらく一旦に数回言ったり、いびき出したりしているであろう言葉。

「ありがとう」

出典は、現存出典のうち最古の経典といわれる「法句経(ほくぎょう)」。(スッタニパータとともに最古の経典)

「ひとの生をうくるはかりなく、死すべきものの、生命あるもありがたし」
であると言われている。

この言葉を大谷大学の延塚 知道先生(真宗学)が説明されていたので、そちらを引用させて頂くと、

人と生まれた生命の驚きを教える教説である。だから「有り難し」

とは、その仏説を聞き、人の生命の尊貴(そんき)さへ目覚めた、

大いなる感動を表す言葉でもある。大谷大学発行

「学苑余韻」生活の中の仏教用語より

このことが時とともに感謝を伝える意味に変わっていったようです。

難しく感じる仏教でも、「仏教発! 日常語」だと知ると少し面白く感じます。

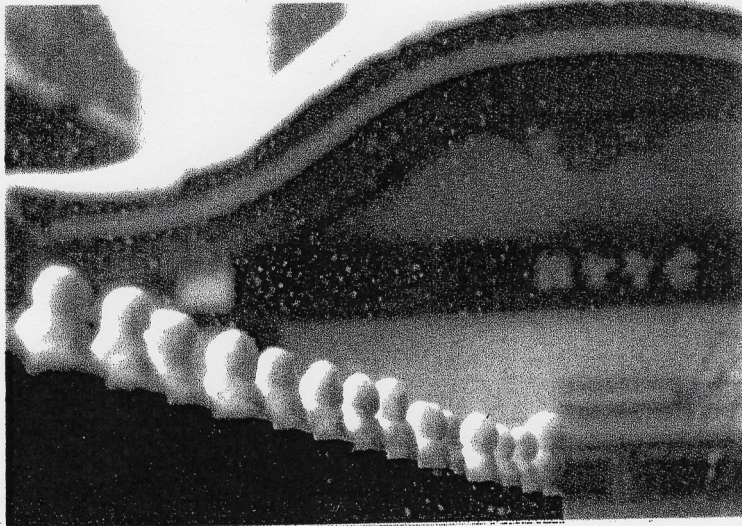
今後「ありがとう」を言う時に、ふと頭に仏教がよぎる。

忙しい日常のなかでは、なかなかそんなことを気にしてられないかもしれませんが、ほんの少しだけ気にすることで、もっと温かい

「ありがとう」が生まれるかもしれません。

ありがとう





今年の冬は、関東・甲信地方を中心に、東京にも2回の大雪が降りました。

みなさまがお住まいの地域は大丈夫でしたでしょうか。

右の写真は、2月14日に当寺の境内・寺務所前を撮影したものです。

とても可愛い雪だるまになりました。

ありがとう

3月10日(月) 春のお彼岸法要に先立ち、本堂の仏具のお磨きが行なわれました。

・ 様 ・ 様
・ 様 ・ 様
・ 様 ・ 様

今回もありがとうございます！

(順不同)

次回の法要

5月22日(木)

永代経法要

講師 細谷亮太郎

聖路加国際病院

小児科総合医療センター長

タイトル『ウム有無』とは… むづかしい仏教のことや仏教用語を「ウムウム」と
読んでいただけるようにまとめた冊子です。

仏教用語 有無(うむ) — 存在すること、しないこと。

また 形あるものとないもの。

(有形、無形)

発行日：平成26年3月1日

制作：副住職 釋祐翔

准坊主 小笠原 沙織

題字：15代住職 釋祐純

浄土真宗 大谷派寺院 源通寺

住所：〒164-0002

東京都中野区上高田1-2-7

TEL: 03-3371-8817

FAX: 03-3371-8815

URL: gentsuji.or.jp

E-mail: contact@gentsuji.or.jp

当寺に関する事、法要に関する事など、

気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。